

資料1 大村はま ブックリスト 西尾実監修昭和50年版『改訂標準中国語一〜三』教育出版 所収 (発)発展的指導 (関)関連指導

書名	著書・編集	出版社	分類	ジャンル・テーマ	通信	項目	解説内容(抄)	発 展(発)	関 連(関)
1 グスコブドリの伝記	宮沢賢治	岩波書店	910	希望	1年-1号	テーマ	都会化された環境下の子どもにぜひ読ませたい		
2 二年間の休暇	J・ベルヌ	福音館書店	930	希望	1年-1号	テーマ	長編ものを読み慣れないものにも抵抗なく読み進められる		
3 エイブ・リンカーン	吉野源三郎	ポプラ社	280	希望	1年-1号	テーマ	困難に正面からぶつかって一度も逃げ出さないことが彼の偉大さ		
4 信濃の民話	信濃の民話編集委員会	未来社	380	民話	1年-1号	案内	「日本の民話シリーズ」50巻の内の一冊	(発)この本の「小泉小太郎」と「竜の子太郎」の比べ読み	
5 君たちはどう生きるか	吉野源三郎	ポプラ社	100	生き方	1年-1号	作者	人間が人間らしく生きることの大切さ		
6 人間の尊厳を守ろう	吉野源三郎	ポプラ社	360	生き方	1年-1号	作者	身のまわりの問題を歴史的社会的に考察する態度への導入として好適(発)吉野氏の三冊本選集を通覧させたい		
7 海底二万海里	J・ベルヌ	福音館書店	290	SF	1年-1号	作者	空想科学小説の傑作	(発)世界月旅行	
8 日本の神話	松谷みよ子	講談社	910	神話	1年-1号	読み広げ	中学生としての見渡し、歴史的な尺度を持っての見直しをさせるのに好適、昔の人々の心のひだを読み取ると資料として読ませ、探らせるのがよい		
9 風土記物語	神田秀夫	岩崎書店	910	神話	1年-1号	読み広げ	古典文学の世界への導きは狭い範囲にとどめておくべきものではない。考古学的な背景もしっかりふまえて書かれていて、古代の心と生活への目を引き出すのに力がある。		
10 夢見小僧	木下順二	平凡社	770	民話劇	1年-1号	読み広げ	民話と民話劇の本の中間に位置する。伝承されてきたものを木下氏が再創造。(発)戯曲に興味を持った者には「夕鶴」を。		
11 小さき者の声	柳田国男	角川文庫	380	民俗学	1年-1号	読み広げ	子どもの用語や遊びの中に、祖先の生活や思想をうかがい知る鍵が隠されている。新しい知識に目を開かれる快い快感を味わうことのできる文章 (発)同じ筆者の「日本の祭」「毎日の言葉」		
12 ホームーロスのオデュッセイア物語	ピカード	岩波書店	990	神話	1年-1号	読み広げ	おほかたで、たぐましい古代人の息吹を生かして伝えて長編を讀む楽しさを満喫させてくれる。 (発)同じ筆者の「ホームーロスのイーリアス物語」「ウイゼ」を併り当てた人」をぜひ。		
13 原生林のコウモリ	遠藤公男	学習研究社	480	動物・人	1年-2号	テーマ	原生林にすむコウモリの生態研究を村人や児童・生徒の協力で行った教師の記録物語。自然を守り育てる意味を考えさせる。		
14 鯉のいる村	岩崎京子	新日本出版	910	動物・人	1年-2号	テーマ	村ぐるみ鯉の養殖をしている新潟県の山村を舞台に、大人の世界の入り口に達し幼年の心がみずみずしく描かれている。		
15 蜘蛛の糸 杜子春	芥川龍之介	新潮文庫	910	動物・人	1年-2号	案内	極楽や仙人界に比べれば、まことにみじめな世界であっても、そこにしか人間は生きられないのだとしたら、わたしたちが、もっとも大切に守らねばならないものは何かを考えさせたい。		
16 シラサギ物語	岩崎京子	講談社	910	動物・人	1年-2号	作者	シラサギの生態観察を生かしながら生物生存のきびしさを物語化している。(発)同じ作者の「山のウグイス」「鯉のいる村」		
17 マヤの一生	椋 鳩十	大日本図書	910	動物・人	1年-2号	読み広げ	犬の一生を描きながら、その犬をめぐる人間の生き方と戦争の悲しさを描く。		
18 極北の犬トヨン	カラージュニコフ	学習研究社	980	動物・人	1年-2号	読み広げ	ツングース人グラウ家で聞いた犬トヨンの物語。トヨンの活躍が人間の生活を助けている様子が生き生きと描かれる。 (発)「オオカミに冬なし」「リュートゲン(岩波)は極北の自然と人間の物語		
19 高安犬物語	戸川幸夫	国土社・新潮文庫	910	動物・人	1年-2号	読み広げ	すぐれた動物文学として直木賞を受賞している。		
20 ホタルの歌	原田一美	学習研究社	460	動物・人	1年-2号	読み広げ	徳島県の山村の小学校で児童からホタルの美しさを教えられた筆者がゲンジボタルに魅せられて三年間にわたって観察した記録。(発)「クマゼミの島」鳥本壽次(学研)		
21 アカウミガメの浜	高橋 厚	学習研究社	460	動物・人	1年-2号	読み広げ	徳島県の日和佐海岸に来て産卵するアカウミガメの生態を昭和25年の夏か12年間にわたって研究した日和佐中学校の生徒と教師の記録である。(発)「ホタルの歌」		
22 森のひびき	中村登流	大日本図書	480	動物・人	1年-2号	読み広げ	筆者が20年間エナガの群れの生活を観察してきた経過をまとめた読み物である。		
23 オオカミに冬なし 上・下	クルト・リュートゲン	岩波書店	940	探検・冒険	1年-3号	テーマ	捕鯨船団が北極海の氷に閉じ込められた。きびしい条件下で人間がどれだけの力を発揮するか。 (発)「白いコンドル」「永島のロビンソン」「コン・ティキ号探検記」「スウェンヘディン全集第一巻」		
24 ピッケルの思い出	横 有恒	学習研究社	780	探検・冒険	1年-3号	テーマ	筆者は日本の近代登山を確立した一人。12歳草履きで山登りを始めたころの体験からスポーツとしての近代登山が確立されるまでの過程を描く。 (発)「エベレストへの道」「日本の山に生きた人びと」		
25 ぼくらはガリレオ	板倉聖宣	岩波書店	420	実験	1年-3号	案内	ガリレオの「落下の法則」を四人の中学生が仮説を立てて実験を繰り返す。「自分の頭で考える」仕事は知識のうのみにならされた子どもたちも、科学研究の楽しさに引き込まれる。 (発)「ロケットの科学」		
26 白いコンドル	クルト・リュートゲン	学習研究社	940	探検・冒険	1年-3号	作者	16世紀初頭にパナマ地峡を横断し太平洋をヨーロッパ人として初めて確かめた冒険家バスコ・ヌニェス・デ・バルボアの生涯を描いた物語。		
27 水原の旅	瓜生卓造	学習研究社	910	探検・冒険	1年-3号	読み広げ	南極探検を行ったイギリスのスコット隊とノルウェーのアムンゼン隊の行動を対比しながら極点到達の競争の成否の過程を生かきと物語っている。 (発)「極地を探検した人びと」村山雅美(さ・えら)		
28 コン・ティキ号探検記	ヘイエルダール	筑摩書房	290	探検・冒険	1年-3号	読み広げ	ヘイエルダールは、古代インカ人の使ったのと同じ形の筏に乗り、南アメリカ大陸から南太平洋の島々への移住が可能だったことを証明しようとした。 ナンフィクションの代表作。		
29 コロンブス	古田足日	盛光社	230	探検・冒険	1年-3号	読み広げ	先進大国のエゴイズムとは何か、など、現代の世界について考えさせる契機を多く含んでいる。	地図を見ながら読むようにすめたい。	
30 エベレストへの道	安川茂雄	ポプラ社	780	登山	1年-3号	読み広げ	日本の登山の歴史物語。日本には古くから山岳信仰があり、スポーツとしての登山はイギリス人ウェストンなどの来日によってもたらされた。登山技術の発展のあとをたどる。 (発)「ピッケルの思い出」		
31 山へのおこがれ	前芝茂人	理論社	290	登山	1年-3号	読み広げ	筆者は登山と河下りにとどまらずヴィルカバンパ山群にあるインカの遺跡をたずね、その歴史と現在のインディオの生活に被圧迫民族の問題を見ている (発)「インカ帝国の探検」「ピッケルの思い出」		
32 楽しいキャンプ	兼松保一	ポプラ社	790	登山	1年-3号	読み広げ	中学生年代の若者にはキャンプをとおして楽しい集団活動を体験させることは意義のあることである。(関)「魚つりのすべて」(ポプラ社)		
33 若き英雄	河津千代	牧書店	280	伝記	2年-1号	テーマ	マケドニアの若い王、アレキサンダーの伝記。 (発)「サトクリフ」もしもびをかかて(岩波書店)		
34 マコヴァルドさんの四季	カルヴィーノ	岩波書店	970	夢	2年-1号	テーマ	人夫のマコヴァルドさんは、せちがら大都会のリズムから、どうしてもはずれてしまう存在だ。弱い者の立場から都会生活の非情さと、その中に思わずのぞく教いどを描くユニークな作品。		
35 「岩宿」の発見	相沢忠洋	講談社	280	夢	2年-1号	テーマ	貧困と一家離散の不幸な幼年時代、集めた土器の破片から遠い先祖の一家団圓の姿を想像しなぐさめに、日本列島の歴史を大きく書きかえる発見の陰に迷いながらも粘り強く事実を積み重ねる姿が。		
36 黒部ダム物語	前川康男	あかね書房	510	夢	2年-1号	案内	黒部ダム建設の経過を少年少女向きに書いた記録物語。渓谷にまつわる歴史や伝説にふれて、開発と人間の関わりを考えさせる。		
37 心の灯	藤森栄一	筑摩書房	280	生き方	2年-1号	読み広げ	中学時代に考古学に開眼する。研究と発表に生きがい求めて、封建的な研究体制を打開しようと努力する。学問のあり方を示す本(発)「岩宿の発見」		
38 貝塚の調べ方	直良信夫	さ・えら書房	280	生き方	2年-1号	読み広げ	著者は40年の貝塚研究の経験をもとに考古学の知識を広める目的で書かれた啓蒙書。		
39 父と母の歴史	鶴見和子	筑摩書房	280	生き方	2年-1号	読み広げ	満州事変から太平洋戦争の終わりの15年間の入ひとの生活を書いて記録している。身近な日常生活のひだに戦争を軸とした歴史は何をもたらしたか。 (発)戦争と人間のいのち」来栖良夫		
40 井戸掘吉右衛門	かつおきんや	牧書店	910	生き方	2年-1号	読み広げ	村の石壁に刻まれた人物とその背景を、中学生のグループが土地の古者を訪ねたり、文献を照らしたりしながら調査していく経緯が描かれる。(発)同「天保の人びと」		
41 日本の農業	中井信彦	さ・えら書房	280	日本史	2年-1号	読み広げ	日本へ稲作が渡来した時代から、現代のときなし野菜作りに向けた農業の歴史をこくわりやすく書いている。数少ない各論的な歴史のほんの一つ。 (関)「塩」むかしの旅と運送」		
42 大仏建立物語	神戸淳吉	小峰書店	280	日本史	2年-1号	読み広げ	奈良東大寺の大仏は建造の記録がほとんどない。当時の国家権力の象徴としての大仏の役割をわかりやすく記述している。 (発)「少年少女おはなし日本の歴史2 貴族の世のなか」「日本の歴史」		
43 埋もれた秘宝	森 豊	ポプラ社	280	日本史	2年-1号	読み広げ	最古の住民たち、狩と漁のらし、稲作文化の展開、古墳を築いた人びとの四章で話題を展開する。(発)「貝塚の調べ方」「心の灯」		
44 サルから人間へ	11Wコンウォール	福音館書店	200	歴史	2年-1号	読み広げ	人間のからだの進化について、化石になった骨をたずね、骨に基づいた事実から推定をくだしながら解説した本。		

資料1 大村はま ブックリスト 西尾実監修昭和50年版『改訂標準中国語一～三』教育出版 所収 (発)発展的指導 (関)関連指導

45	人間の歴史 上	イリーン	岩波書店	200	歴史	2年-1号	読み広げ	自然に対して努力してきた人間の物語。(関)同じ著者の「燈火の歴史」柳田國男「火の昔」井尻正二「人間の誕生」
46	ぼくらははだして	後藤竜二	あかね書房	910	現代	2年-1号	現代人	産業社会の変化と価値観の多様化のなかで生きる若者の姿を鋭く描く。(発)砂田弘「さらばハイウェイ」
47	二年2組はヒヨコのクラス	山下夕美子	理論社	910	現代	2年-1号	読み広げ	広島に根をばった。話題を通して、生徒と教師の心のふれあひの中に社会的認識を深めて成長する生徒群像を描いている。 (発)大野允子「夕焼けの記憶」長崎放送局「いしぶみ」
48	キューボラのある街	早船ちよ	理論社	910	現代	2年-1号	読み広げ	中三のジレンマが直面する問題を通して、読み手の心に、自分の生き方への反省と問題意識を呼び起こさずにはおかない作品(発)第五部まである。
49	あり子の記	香山美子	理論社	910	現代	2年-1号	読み広げ	中三の少女をヒロインとして描く。現代少女向けの小説。
50	君たちの天分を生かそう	松田道雄	筑摩書房	360	評論	2年-1号	読み広げ	中学生向きに出された評論・論説。取り上げられた問題も中二、中三向き。読後の議論をぜひ勧めたい。(発)吉野源三郎「君たちはどう生きるか」齊藤喜博「君の可能性」
51	子ども日本風土記	日本作文の会編	岩崎書店	210	記録	2年-1号	読み広げ	これは確か。今日の「風土記」である。全47巻刊行予定。自分の県、周辺の県について、また、全く離れた地、行ってみたい地などの巻を読ませたい。
52	ヤン	前川康男	910 平和	910	2年-1号	作者	ヤン少年の体験を通して戦争がもたらす人間性の破壊と戦争の本質を描く小説。(発)来栖良夫「戦争と人間のいのち」	
53	若者よ君らは	丸木政臣	偕成社	360	社会の中で	2年-2号	テーマ	青年の純粋さ、ひたむきさ、とそのため傷つきやすい傾向などに配慮しながら十代を生き抜くことの大切さ語っている。集団読書に適している。 (発)「悩みに答える」心のふれあひ
54	カナダ・エスキモー	本多勝一	講談社文庫	250	社会の中で	2年-2号	テーマ	筆者とカメラマンはカナダ・エスキモーの中で二か月間暮らし、その遊獵生活から、者の考え方までを記録した。 (発)「ニューギニア高地人」「アラビア遊牧民」と合わせて三部作。
55	いのちを守る	川上 武	筑摩書房	490	社会の中で	2年-2号	テーマ	医師の仕事や社会的な関連から取り上げて病気の原因となっている社会の制度やしくみとの関連にも鋭い分析を加えて紹介する。
56	白き処女地	ルイ・エモン	白水社	930	社会の中で	2年-2号	案内	カナダのケベック地方の開拓地を舞台に敬虔なカトリック教徒の少女マリアが愛にめざめていく姿を描いた物語(発)ワイルダー「長い冬」
57	肥後の石工	今西祐行	実業之日本社	910	社会の中で	2年-2号	感想	天保の石工、岩永五郎の生き方をとおして、封建時代における技術の継承や発展の問題を扱いながら、人間の生き方をドラマチックに描いた歴史物語である。
58	超高層ビルのあけぼの	武藤清・岩佐良寿	鹿島出版会	510	記録	2年-2号	感想	霞ヶ関ビルの建設の過程を述べた記録読み物である。特に五重の塔の建設技術の比較など記述の苦心がみられる。
59	コロンブスのむすこ	ハンス・パウマン	岩波書店	230	生き方	2年-2号	感想	アメリカ大陸の発見者コロンブスの次男の目を通してコロンブスの生き方を描く歴史物語。重なる障害を克服するコロンブスの人間性をあざやかに描く。
60	シートン動物記	シートン	集英社	480	動物・人	2年-2号	感想	シートンのオジナルの訳書。小学校の間にシートンを愛読した生徒は少ないので、ぜひこの訳本で原書の香りを嗅ぎ取らせたい。
61	吾輩は猫である	夏目漱石	岩波・新潮・角川文庫	910	人間	2年-2号	作者	ユーモアの陰に旺盛な批判精神を読み取らせたい。
62	戦場の村	本多勝一	朝日新聞社	360	記録	2年-2号	作者	1966年末から南ベトナム各地に滞在、ベトナム戦争の実態と、戦時下のベトナム人民の生活について報道した著者(発)同じ著者の「中国の旅」をぜひ。
63	心の底をのぞいたら	なだいなだ	筑摩書房	140	生き方	2年-2号	読み広げ	自分の心の中の危険を知り、気をつけていくことが社会生活に必要なこと。
64	いのちは燃える	石垣綾子	偕成社	280	生き方	2年-2号	読み広げ	筆者の自伝。矛盾に満ちたアメリカの姿を鋭く分析し、自己にも社会にも誠実に立ち向かう筆者の生き方を示す好著。
65	君の可能性	斎藤喜博	ちくま少年図書館	370	生き方	2年-2号	読み広げ	教育の原動力「引き出すこと」にあることを知らせる本。テストでは測れぬ力を出すこと。など、生徒には読みたがえるのある書。
66	うみねこの空	いぬいとみこ	理論社	910	友情	2年-3号	テーマ	八戸の中学生の物語。ウミノコを描いた版画集づくりを進めるのを通して、中学生同志の連帯をつくりだす。共同製作の喜びを描いている。
67	心のふれあひ	藤田恭平	偕成社	360	友情	2年-3号	テーマ	友人関係を理解と選択のうしろに成り立ち、理性的で対等の関係にあるきびしいものであることを示した出色の友情論。(発)早船ちよ「愛と友情」(ポブラ)
68	野菊の墓	伊藤左千夫	金の星社	910	友情	2年-3号	テーマ	著者の回想の形で描かれた恋愛小説。
69	うたの心に生きた人びと	茨木のり子	さ・えら書房	280	伝記	2年-3号	案内	与謝野晶子・高村光太郎・山之口散・金子光晴の四人の詩人について近代・現代を生き抜いた心を読み取らせたい。(関)「維新につくした人々」
70	小さい心の旅	関 英雄	偕成社	910	ふれあひ	2年-3号	読み広げ	大正時代の風俗を背景に人物の言動も写實的な実感のこもった自伝的な作品。(発)丸岡秀子「ひとすじの道」
71	地平線の五人の兄弟	後藤竜二	新日本出版社	910	ふれあひ	2年-3号	読み広げ	出生や経歴の異なった五人の若者が、暮れから明治初年にかけて北海道開拓に新しい天地を求めて生き抜く物語。(関)「ぼくらははだして」
72	木かげの家の小人たち	いぬいとみこ	中公文庫・福音館	910	ファンタジー	2年-3号	作者	人間を結びつけるもの、約束、愛、ことば、そして現状を打破していくとする若者たちの姿、連帯を求め、暗い中で望み、過ち、繰り返し読むに耐える佳作。 (発)「続編くらやみの冬の小人たち」
73	茨木のり子詩集	茨木のり子	思潮社	910	詩歌	2年-3号	作者	ことばを使って生きる人間の、一つのピークが姿がここにあり。 (発)現代詩のアンソロジーに中学生向けのものがなかったので、「谷川俊太郎詩集」「石垣りん詩集」を勧めたい。劉連仁事件の記録。
74	詩の世界	高田敏子	ポブラ社	910	詩歌	2年-3号	読み広げ	平凡なものの価値を探り、ものの生かし方を発見するのが詩の心。詩の鑑賞とともに創作への意欲を促す好著。(発)「うたの心に生きた人々」
75	啄木のうた	城 脩編	童心社	910	詩歌	2年-3号	読み広げ	大型の本に、バラリと組んだ、三行書きの歌と詩。時にはこうした余白の多い書物を読むことの楽しさも知らせたい。啄木によって、歌に近づけてやりたい、と同時に、近代日本の生きしめをたどらせたい。(発)生徒が自分で読んでいけるように、中学生向けの注と解説のついた啄木詩集「雲は生きている」
76	智恵子抄	高村光太郎	新潮文庫	910	詩歌	2年-3号	読み広げ	ここに表出されている強靱な精神に裏打ちされた愛はその純粋さと深さにおいて見事な典型として著者の心に啄木(関)光太郎の伝記として「うたの心に生きた人々」
77	原爆詩集	峠三吉	青木文庫	910	詩歌	2年-3号	読み広げ	(発)この民族の体験をたどらせざるに平易なもの「物語詩」「川とアリア」「詩集」「原子雲の下より」「少年少女の記録」「いしぶみ」「わたしがちいさかったとき」
78	生きる	畑 正憲	筑摩書房	460	しあわせ	3年-1号	テーマ	生類という事実を通して、アメーバをはじめとする動物と人間のつながりを示す。それをふまえたうえで、人間は、社会生活によって本能をコントロールする存在だと説く。 (関)「恋愛なんかやめておけ」
79	車輪の下	H・ヘッセ	白水社	940	しあわせ	3年-1号	テーマ	同年代の子どもらにとって、ハンスの運命は、他人事ではなく深い共感を呼ぶであろう。(発)同じ作者の「戀悲-ベーターカーメンツィン」「ひとすじの道」
80	ひとすじの道	丸岡秀子	偕成社	280	しあわせ	3年-1号	テーマ	婦人問題・教育問題評論家である筆者の少女時代をモデルにした自伝的作品。明治40年代の時代背景・信州の自然・民情などにもかなりの筆がかけられている。 (関)「父と母の歴史」
81	日本人の心	岡田章雄	筑摩書房	360	日本史	3年-1号	案内	日本に生きることの独自の意味、問題。外から見れば、どんな民族なのか知っていく本。 (発)「高度だが「ことばと文化」(岩波書店)は、比較文化論のわかりやすい具体例が多く、考えさせるのによい。
82	赤い小馬	スタインバック	新潮文庫	980	外国文学	3年-1号	読み広げ	父と母の形象や牧童の姿が描かれるうちに、少年の心のひだをたどらえて読むことになり、それは、生徒自身の心身の発達にもなっていく事柄を重ねて読むことになるのだ
83	アラバマ物語	ハーバー・リー	暮らしの手帖社	930	外国文学	3年-1号	読み広げ	アラバマ州の小さな町のできごと。弁護士父親の正義感や勇気に寄せる、兄妹の尊敬と信頼は、読み手の大人にとっても、子どもにとっても、胸を打ち、反省をうながすすにはない。
84	夏草はしげる	ビナー・ハルラーナ	学習研究社	970	外国文学	3年-1号	読み広げ	第二次大戦中の反ファシズム運動に携わる青少年の活動を生きて描く。(発)「緑のほのおの少年団」
85	ひとが生まれる	鶴見俊輔	筑摩書房	280	伝記	3年-1号	読み広げ	中浜万次郎・田中正造・横田英子・金子ふみ子・林伊夫の5名を挙げてその生涯の生き方を決定した経緯に焦点をあてて述べている。
86	中浜万次郎の生涯	中浜 豊	富山房	280	伝記	3年-1号	読み広げ	中浜万次郎の生涯を誠実に生きる様子を著者が描いた伝記。(関)「明治維新につくした人々」
87	人間 野口英世	秋本寿憲夫	偕成社	280	伝記	3年-1号	読み広げ	野口英世が封建的な体制の強い日本の医学界から自分の才能と個性を生かす場を求めて外国に移住した経緯を美証的に語ったユニークな伝記。 (関)「細菌とたたかった人々」
88	床屋医者ハレ	カルポニエ	福音館書店	280	伝記	3年-1号	読み広げ	床屋医者ハレが、度々の従軍による実地の経験から新しい方法を身につけ、書物に表して知識を公開し、近代医学の父となるまでの伝記。
89	祖国へのマズルカ	プロシキエヴィチ	学習研究社	280	伝記	3年-1号	読み広げ	民衆の生活のいぶきを素材にしてマズルカ作曲したショパンの時代背景の関連の中で、被虐者の姿をあざやかにとらえている。(発)「世界の歴史12.1」
90	アンネの日記	アンネ・フランク	文藝春秋社	360	伝記	3年-1号	読み広げ	この本を紹介する際、冒頭の「キティ」宛に書く理由を述べた部分と巻末の「アンネの死まで」とを要約して話すのがよい。
91	スポーツとは何か	中村敏雄	ポブラ社	780	環境・人	3年-2号	テーマ	いちばん手びやこフイ友だちの音が人間の本質的な権利の主張であることを理解し、スポーツをみんなのものにすることを説いた本。 (発)「エレストへの道」「スポーツの夜明け」
92	黒い雨	井伏鱒二	新潮社	910	環境・人	3年-2号	テーマ	年月を経ても、なお人間の存在を抹殺し続ける原爆の非人間性を、興奮を抑えた文章で、しかし深い憤りを込めて告発している。必読の書。 (関)「原爆詩集」「日本原爆詩集」「0の魂」(アメリカの記録)
93	たたかひの人	大石 真	フレーベル館	280	環境・人	3年-2号	テーマ	被害地域の政治家として、献身的に農民の側に立ちた鉱毒問題に取り組み、先駆的な役割を果たした田中正造の伝記。 (関)「二つの川」「公害のはなし」「四日市、死の海とたたかう」
94	人生のはじめ	マルシャーク	理論社	280	伝記	3年-2号	案内	「森は生きている」の作者マルシャークが幼年期から少年期までを語った自伝。(発)「森は生きている」
95	森は生きている	マルシャーク	岩波書店	770	戯曲	3年-2号	作者	現在広く上演されている少年少女向けの戯曲の中でも、もっとも高名な作品。(関)マルシャーク「魔法の品売ります」

資料1 大村はま ブックリスト 西尾実監修昭和50年版『改訂標準中学国語一～三』教育出版 所収 (発)発展的指導 (関)関連指導

96	山椒魚・遙拝隊長	井伏鱒二	岩波文庫	910	動物・人	3年-2号	作者	井伏初期の短編集。平凡な庶民の持つユーモアとベースをあたたく描き、権力を持つものの欺瞞と醜さを痛烈に暴くことにおいて共通している。(発)「多喜古村」
97	二つの川	鈴木喜代春	ポプラ社	910	公害	3年-2号	読み広げ	渡良瀬川と神通川の二つの川に関係深い一農民作家の生涯を描きながら鉱毒問題を追及した小説。
98	四日市・死の海と闘う	田尻宗昭	岩波新書	360	公害	3年-2号	読み広げ	公害に対して自分自身が何をすべきか読者各自が自らに問いかけてみることを要求している。(関)「茨木のり子詩集」「苦海浄土」
99	消えた峠の村	水野都祉生	ポプラ社	360	公害	3年-2号	読み広げ	高度経済成長の波に洗われて離散した長野県飯田太平部落の経緯を説明し、集団移住の強制的な取り扱いに対する批判を述べて生活基盤のあり方を考えさせる。(発)「環境をつくる」漆原美代子
100	苦海浄土	石牟礼道子	講談社	360	公害	3年-2号	読み広げ	その悲惨さが、水俣病を世界的に有名にさせてしまった。(関)「関」や難しいが、岩波新書「地域開発」はこれよりよいか。
101	魚つりのすべて	永田一脩	ポプラ社	790	趣味	3年-2号	読み広げ	魚のつりかたとともに自然や動物を科学的に調べる必要性を説いて魚について多角的な理解を深める記述をしている。
102	SF教室	筒井康隆	ポプラ社	900	趣味	3年-2号	読み広げ	SFと呼ばれる読み物全般にわたって作家と研究科が分担執筆 (発)「推理小説の読み方」中島河太郎(ポプラ)
103	福翁自伝	福沢諭吉	旺文社文庫・ほか	280	伝記	3年-3号	感想	今の、これからの日本を考える時期にある生徒たちに通史としての歴史だけでなく、時代を生み出していった、一人ひとりの人間の姿、心をとらえさせたい。(関)「明治維新につくした人々」「フランクリン自伝」
104	文学入門	桑原武夫	岩波新書	900	読書	3年-3号	テーマ	論者は、文学の働きの中心を、美にではなく、人間・人生への興味・関心を持つところにおいている。巻末のアンナカレーニナの読書会、世界小説50選も今後役立つ。
105	万葉のふるさと	清原和義	ポプラ社	910	読書	3年-3号	テーマ	万葉集の歌を理解するために万葉時代の人の生活や感覚やものの見方を歌に即して解明している。
106	やがて大人になる君たちに	横谷 輝	牧書店	900	読書	3年-3号	テーマ	中学生に読ませたい12編の作品をあげ、それぞれの作品に現れている人間の生き方に焦点をあて、人生や社会に関する諸問題を真剣に考え、真実を読み取ることをうながす、ユニークな読書案内の本。
107	人間らしく働く	中里喜昭	新日本出版社	360	働く	3年-3号	案内	各地の労働の実態のルポルターージュ。産業の発展に伴って疎外されていく人間生や人間のいのちをどう回復させなければならぬのか事実を把握させながら考えさせようとしている。(発)「ふるさとに生きる」
108	モゴール族探検記	梅棹忠夫	岩波新書	360	文化	3年-3号	読み広げ	アフガニスタンの部族間の歴史を解明することから人間関係の複雑さを具体的に語り、中学生には少し程度が高いが民族問題について考える入門的な読み物である。(発)「東洋の文化」飯塚浩二(福村出版)
109	石油と砂漠の国々	甲斐静馬	ポプラ社	230	文化	3年-3号	読み広げ	現在の中東問題に対する理解を深めるために役立つ基礎的な読書資料。
110	子どもの祭り	芳賀日出男	小峰書店	380	文化	3年-3号	読み広げ	日本各地の27の祭りを写真入りで取り上げ、地域の人々が自らの生活のリズムの中で、集団で伝承していく意義を理解させようとしている。(関)「世界の祭り」「小さき者の声」
111	幽霊のはなし	今野圓輔	ポプラ社	380	文化	3年-3号	読み広げ	日本人の生活のなかで生まれてきた幽霊の社会的背景を分析し、幽霊を日本の文化史との関係で解明しようとしている。
112	たけくらべ	樋口一葉	童心社	910	文学	3年-3号	読み広げ	この時代の雰囲気を知り、文語文に読み慣れるのに、かつこうの短編。(発)「明治文学は露伴」「五重塔」「源おし」「忘れえぬ人々」「蘆花」「思い出の記」なども読み広げさせたい。
113	雲は天才である	石川啄木	金の星社	910	文学	3年-3号	読み広げ	少年少女向きに「啄木入門」を指して書かれた本。
114	生まれ出づる悩み	有島武郎	新潮文庫・ほか	910	文学	3年-3号	読み広げ	「尊い一つの魂が母体を破り出ようとして苦しんでいる」姿は、読者を芸術創造の内面に導いていく。(発)同じ作者のものでは「ドモ又の死」「戯曲」「小さき者へ」
115	セメント樽の中の手紙	葉山嘉樹	ポプラ社	910	文学	3年-3号	読み広げ	労働者の悲哀とやり場のない怒りが、胸につきささってくる。密度の高い短編の傑作。(発)葉山嘉樹の「海に生くる人々」徳永直の「最初の記憶」
116	渦巻ける鳥の群(二銭銅貨)	黒島伝治	岩波文庫	910	文学	3年-3号	読み広げ	現代を生み出す、直接のみなもととなっている近代日本を知らせるためにはいわずゆるプロレタリア文学にふれさせる必要がある。(関)「螢工船」多善二「貧しき人々の群」百合子
117	にんじん	ルナール	旺文社文庫	950	外国文学	3年-3号	読み広げ	少年期の心がどれだけ孤独の中にありうるかを、少年少女自身が、この物語にとらえていくことは、自身をより客観化し対象化して見つめていくための有力な手がかりを手に入れることとなる。
118	老人と海	ヘミングウェイ	新潮文庫	930	外国文学	3年-3号	読み広げ	自然の圧倒的な力に孤独な戦いをいどむ老人の姿に荘厳な感じさえ覚えさせる。(発)スタインベック「赤い小馬」「エデンの東」「怒りの葡萄」なども勧めたい。
119	変身	カフカ	新潮文庫	950	外国文学	3年-3号	読み広げ	人間の心理を持った毒虫が、不気味な美在感を持って、現代の不安と孤独さを訴えかけてくる。(発)安部公房「椿」大江健三郎「不意の嘘」
120	阿Q正伝	魯迅	中公文庫	920	外国文学	3年-3号	読み広げ	退廃した社会の悪を徹底的にえぐり出すことによって、民衆がそれを自ら克服し、前進していくことを意図して書かれた。(発)「藤野先生」「呐喊」自序、「狂人日記」「孔乙己」「薬」「小さな事件」